

1 1月と2月定例会の一般質問で登壇しました。

小中一貫校の整備について

Q1. 今後の小中一貫校の整備方針は？

A1. 今年度教育委員会に新たな学園づくり研究会を組織した。来年度に学校再編計画策定委員会を設け、整備方針やスケジュール等について検討していく。

Q2. 小中一貫校の整備は、子どもたちの教育だけでなく、地域の魅力づくり、まちづくりである。教育委員会主導ではなく、市長部局主導で行うべきではないか？

A2. 子どもファーストの考えを最重視するべきであり、教育委員会主体となつてすすめるべきと考えている。

保育園の整備について

Q. 令和3年開園の保育園について、公設のリース契約では、国の交付金を受けることができず、3億5千万円以上市の負担が増えることになるが、そのような判断をした理由は？

A. 本年度の調査により、令和3年度以降、待機児童が多数発生する可能性がでてきた。それを解消するには、交付金を受ける手法では令和3年度開園に間に合わせる事ができず、リース契約により、事業者に貸し付ける手法とした。

縁結びプロジェクトについて

Q. 縁結びプロジェクトについて、県や近隣市町との連携が必要では？

A. 結婚推進の必要性は、掛川市だけではなく日本全体の課題であり、広域的に取り組む必要がある。そのためには、県と共に行うことが大切であり、県を巻き込んで取り組んでいきたいと考えている。

答弁を受けて・・・

小中一貫校の整備について

これからの掛川市の将来を見据え、こどもたちの未来にとって何が最も良いのか。どうしたら魅力があり、若い世代が帰ってきてくれるまちづくりができるか。これからの将来を是非皆様と議論を交わすことができればと思います。

保育園の整備について

待機児童の解消は大変重要であるが、将来の負担を減らすことも大変重要である。その政策が本当に最適なのか。今後も市がしっかりと説明責任を果たせるよう追及をしていきます。



『令和の新時代 サステイナブル（持続可能）なまちづくりスタート予算』

一般会計予算 508億4,711万円（伸び率5.5%）※過去最大規模

主な新規事業

- ・学校再編計画、小中一貫校基本計画策定業務（原野谷・城東） 3,000万円
- ・かけがわ茶エンナーレ事業 2,251万円
- ・認定こども園建設事業（横須賀、城東、智光） 16億4,885万円
- ・海岸防災林強化事業（南部地域の防潮堤） 7億6,824万円
- ・はしご付消防車購入 2億3,081万円

	平成20年度末決算	平成30年度末決算	令和1年当初予算	令和2年当初予算
市税収入	230.2億円	212.8億円	210.2億円	207.1億円
市債残高 (市の借金)	740.6億円	695.7億円	701.4億円	699.9億円
基金残高 (市の貯金)	—	—	40.4億円	34.4億円

コロナウィルスへの対応に、来年度当初予算に6千7百万円が追加されました。今後、さらなる対応が必要となることが想定されます。先行きが大変心配であり、予算の執行については、コロナウィルスの影響も踏まえ、例年以上の慎重な執行を強く要望しました。



令和2年出初式



成人式（掛川会場）



津波被災地を視察

コロナウィルスには最大限の対策を

3月に市政報告会を予定していましたが、延期としました。コロナの状況次第ですが、夏ごろに開催予定です。

世界経済、日本経済が全く不透明な状況ですが、掛川市として何が出来るか、個人として何が出来るか。しっかりと考えていく必要があります。

みなさまのご支援により議員をさせていただき、3年が過ぎようとしています。議会の中でも、発言をさせていただける機会も多くなりましたが、議員というのは、一人の思いだけでは何もできないということを痛感しているところでもあります。

しっかりと力をつけて、掛川市の発展のために全力で邁進してまいります。

発行責任者：嶺岡慎悟

住所：掛川市上土方嶺向
996

電話：0537-64-7989

携帯：090-9172-9838

mail：mineokashingo
@gmail.com

URL：mineokashingo
.com

ご意見等ございましたら
お気軽にご連絡ください。